

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 成田良治
幹事 鷲野義明
会報委員長 杉浦比左夫

No. 14

ロータリーを高めよ!

思いを尽くし熱意を尽くし!

1990~91年度 RI会長 パウロ V.C. コスタ

第404回例会 平成2年10月9日(火) 晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 68(67)名 出席 47名
出席率 70.15 %
前回 10月2日 (修正出席率)100%

◇ ビジター紹介 4名

◇ お誕生日祝福

水野(賀)君(10/5)、太田夫人(10/11)
成田夫人(10/14)、和田夫人(10/14)

◇ ニコボックス

小酒井 盛雄君 お陰様で創業80周年を迎えさせて頂き、社長職を交替し会長に就任致しました。有難うご座居ました。

上野 保君 英和オーエー(株)80周年をお迎えるのパーティー、おめでとう御座います。
松居 敬二君、西川 豊長君 所用のため早退させて頂きます。

水野 賀統君 誕生日祝い。結婚記念日祝い。
成田 良治君、太田 茂君、和田 正敏君 夫人誕生日祝い。
北野 寿三郎君、竹内 真三君 結婚記念日祝い。

◇ 鷲野幹事報告

1. 本日例会終了後、臨時総会を開催いたしますので、全会員の方はそのままお残り下さい。
2. 次回例会は職場例会を日本生命保険相互会社にて12時30分より開催致しますのでお間違いのないようお願いいたします。

◇ 成田会長挨拶

先週は中村ガバナーの公式訪問を受けまして午前中は会長幹事SAA副会長、副幹事及び会長エレクトが同席し岡本分区代理を含めての懇談会があり、当クラブに対しての種々の

アドバイスを受けました。

更に例会での卓話、クラブアッセンブリーでは各委員長の運営方針及び説明に対するガバナーの御指導を受けたわけですが、全体にはガバナーの熱心な姿勢と、当クラブのまとまりの良さ等により、和やかな雰囲気で行われることが出来ました。これも会員皆様の御協力の賜物と深く感謝申し上げる次第です。

尚、中村ガバナーよりは私の自宅宛御礼の手紙を戴き、「細かいことながら毎年のごとく規定が少々変わったりしているので、以後も心にとめて運営する様に」との事でした。又当クラブの記念品に対してのお礼もありました。

以上、御報告申し上げます。

◇ 講演

“世相とベレストロイカ”

会員 今枝 秀夫 君



1985年(昭和60年)の秋に、スイス・ジュネーヴに於きまして米ソ首脳会談が行われました。そしてレーガンとゴルバチョフは、止まるところを知らない軍拡競争に終止符を打ったわけです。続いてゴルバチョフは、ソ連のベレストロイカに着手したのでありますがベレストロイカにつきましては、1987年ゴルバチョフ自身が書いた本の中で、次のように述べています。

ソビエト社会における経済文化の発展の速度を飛躍的に上げ質的に新しい状態を生み出すための抜本的改革を行うこと。

現在の世界を見渡しますと日本に学べばかり、ソ連・ポーランド・チェコスロバキア・ハンガリーのヨーロッパ勢に加えて中国・フ

イリピン等アジア諸国も抜本改革に取り組んでいます。45年経過した日本もそろそろ次のステップを昇り切るための抜本改革の時期に来ているような気がいたします。

そこで最近の世相を眺めてみることにします。まず土地価格暴騰から生じた資産格差の拡大が大きな社会問題となっています。

事の始まりは、ジュネーブ会談と時を同じくして、ニューヨーク・プラザホテルで行われたG7合意に基づく円高誘導とそれに対応した金融緩和だったわけです。

さて、最近車の渋滞がますますひどくなっていることに気づかれていますことと思います。本年4月の自動車登録台数は5,400万台となり、又、運転免許保持者の数は、本年6月に6,000万人の大台を超えました。人と車より車と車の事故が目立って増加し、駐車場不足が慢性化し、渋滞による二酸化窒素濃度の環境基準を超える所が、どんどん増えつつあります。この7日の新聞によると、現在250万台の国内販売体制を、2~3年後に年間300万台体制にすると、トヨタ自動車が発表しています。つまり、年間数百万台の新車が交通渋滞に拍車をかけ、自己を増やし、環境を悪化させます。

これはやはり都道府県別に総量規制を考える時期に来たということでしょう。

次に、地球温暖化や地球を取り巻くオゾン層の破壊、酸性雨による森林破壊、ゴミの増大・海洋汚染等日々刻々悪化しつつあります。この10月6日全国保健医団体連合会(会員64,000名)が発表した調査結果では、最近の子供の身体は何かおかしい、と感じている開業医が86%あり、アレルギー体質やアトピー性皮膚炎・気管支ぜんそく・すぐ疲れる・腰が痛いなどの症状は、地球環境汚染とは無縁ではないと思われます。

この7月6日、神戸市西区で発生しました県立高校1年生の女子が、細井という教師に校門で挟まれ、頭がい底粉碎で即死した事件ほど、日本の教育の現状について、国民全員が怒りを感じたであろうし、日本の教育は変えなきゃいかんと考えたと思います。

教える場としての学校を先生方は治外法権の場と錯覚しています。教師の感情のたかぶりを教育熱心の余りとかでごまかし、反論できない弱い生徒に体罰を加え、殺傷する等は絶対に許されるべきではないと思います。

文部省管轄の小・中・高の学校も学校法人化することによってマンネリ化した画一教育を改革すべきでしょう。よりよい商品は、消費者の選別が鍵であり、より質の高い教育は、需要者の選別に任せるべきです。

◇講演

“私の職業について”

会員 小杉 啓彰 君



今日の日本のレジャーの一翼を担っておりますゴルフのあゆみについて触れさせていただきます。ゴルフとは、4人一組となって、14本のロフト(角度)のそれぞれ違うクラブを使い分けながら、18ヶ

所のホールに向けて、順次進行していく競技であり、その打数によって優劣を競うのであります。この競技の発祥の地は、オランダであると言われており、昔、羊飼いの牧童が先の曲がった棒を使って小石を飛ばし、牧犬に行く先を示していたのが、次第にゲームとしての性格を備えるようになりました。そして現在の形式が整えられたのが、15世紀のスコットランドへ渡った時と言われております。この国では、身分の上下を問わず国民的競技として発展し、当時の貴族の間でも大いにもてはやされたのであります。そして、16世紀には、イングランドへと波及してゆき、18世紀に入ると今日のゴルフ・ルールの原点とも言うべきものが出来上がりました。そして、1860年にはついに第1回全英オープンが開催されるまでになりました。19世紀後半になるとアメリカにおいてはニューヨークに第1号のコースが作られ、1895年には、全米オープンが開催され、それ以来、アメリカが世界においてゴルフ大国となり、後世に残る名プレーヤーが続々と誕生いたしました。

このように波及したゴルフが日本に上陸したのは、明治後半になって、兵庫県に神戸ゴルフ倶楽部が出来た時であります。しかし、当時のコースは、外国人専用のゴルフ場でありました。以来、全国各地に相次いでゴルフ場がオープンし、約90年経った現在では、約1700ヶ所、ゴルファー人口1200万人となったのであります。ここ愛知県でも現在37ヶ所に於て営業されておりまして、今後も増える傾向にあると思われます。

ゴルフプレー自体が、老若男女を問わず、スポーツとして定着してきたことは、確かなことであり、現代社会に於て健康増進の一助となり喜ばしい事ではあります。リゾート法制定、会員権の高騰などに起因した開発ラッシュ、また農業問題等も考えますと、ふえ続けてきたゴルフ場の運営についての転機が来たような思いを感じております。

◇次回例会(10月16日)

職場例会(日本生命保険相互会社)

◇次々回例会(10月26日)

秋季家族会(天竜峡)